

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年3月11日(2021.3.11)

【公開番号】特開2020-142156(P2020-142156A)

【公開日】令和2年9月10日(2020.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2020-037

【出願番号】特願2020-102754(P2020-102754)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月22日(2021.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤と、

遊技盤に設けられる遊技領域と、

遊技球が入球可能であり、遊技球が入球することにより賞球が付与される複数の入賞口と、

情報を表示可能な情報表示部と、

遊技領域から排出された遊技球を検出する排出検出部と

を備え、

データを記憶可能な記憶手段と、

前記複数の入賞口への遊技球の入球を検出し得る入球判定手段と、

排出検出部における検出数を計数する排出計数手段と

を備え、

入球判定手段による検出結果に基づき、前記複数の入賞口への遊技球の入球に基づく情報である入球状態情報を生成し、当該生成した入球状態情報を情報表示部にて表示し得るよう構成されており、

前記入球状態情報を、表示内容が異なる複数の項目に分けて表示可能であり、

情報表示部に入球状態情報を表示する際は、所定期間毎に前記複数の項目に対応する入球状態情報を切り替えて表示するとともに、各項目を示唆する情報を入球状態情報と同時に表示するよう構成され、

前記記憶手段として、ROMとRAMを有し、

前記ROM内の領域として、遊技の進行に関わる第1ROM領域と遊技の進行に関わらない第2ROM領域とがあり、前記第1ROM領域と前記第2ROM領域との間には所定の未使用領域が設けられており、

前記RAM内の領域として、前記第1ROM領域における処理に関する情報を記憶する第1RAM領域と前記第2ROM領域における処理に関する情報を記憶する第2RAM領域とがあり、前記第1RAM領域と前記第2RAM領域との間には所定の未使用領域が設けられており、前記第1RAM領域として、第1作業領域と第1スタック領域とがあり、前記第1作業領域と前記第1スタック領域との間には所定の未使用領域が設けられており

、前記第2RAM領域として、第2作業領域と第2スタックリードメモリ領域との間に所定の未使用領域が設けられており、

前記入球状態情報は、前記第2ROM領域における処理によって前記第2RAM領域を用いて算出され、

入球状態情報が所定値を超過している場合には、入球状態情報の表示様式を通常とは異なる表示様式にて情報表示部に表示し、

排出計数手段による検出数が特定数に満たない場合には、各項目を示唆する情報を通常とは異なる表示様式にて情報表示部に表示する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係るぱちんこ遊技機は、遊技盤と、遊技盤に設けられる遊技領域と、遊技球が入球可能であり、遊技球が入球することにより賞球が付与される複数の入賞口と、情報を表示可能な情報表示部と、遊技領域から排出された遊技球を検出する排出検出部とを備え、データを記憶可能な記憶手段と、前記複数の入賞口への遊技球の入球を検出し得る入球判定手段と、排出検出部における検出数を計数する排出計数手段とを備え、入球判定手段による検出結果に基づき、前記複数の入賞口への遊技球の入球に基づく情報である入球状態情報を生成し、当該生成した入球状態情報を情報表示部にて表示し得るよう構成されており、前記入球状態情報を、表示内容が異なる複数の項目に分けて表示可能であり、情報表示部に入球状態情報を表示する際は、所定期間毎に前記複数の項目に対応する入球状態情報を切り替えて表示するとともに、各項目を示唆する情報を入球状態情報と同時に表示するよう構成され、前記記憶手段として、ROMとRAMを有し、前記ROM内の領域として、遊技の進行に関わる第1ROM領域と遊技の進行に関わらない第2ROM領域があり、前記第1ROM領域と前記第2ROM領域との間に所定の未使用領域が設けられており、前記RAM内の領域として、前記第1ROM領域における処理に関する情報を記憶する第1RAM領域と前記第2ROM領域における処理に関する情報を記憶する第2RAM領域があり、前記第1RAM領域と前記第2RAM領域との間には所定の未使用領域が設けられており、前記第1RAM領域として、第1作業領域と第1スタックリードメモリ領域があり、前記第1作業領域と前記第1スタックリードメモリ領域との間には所定の未使用領域が設けられており、前記第2RAM領域として、第2作業領域と第2スタックリードメモリ領域があり、前記第2作業領域と前記第2スタックリードメモリ領域との間には所定の未使用領域が設けられており、前記入球状態情報は、前記第2ROM領域における処理によって前記第2RAM領域を用いて算出され、入球状態情報が所定値を超過している場合には、入球状態情報の表示様式を通常とは異なる表示様式にて情報表示部に表示し、排出計数手段による検出数が特定数に満たない場合には、各項目を示唆する情報を通常とは異なる表示様式にて情報表示部に表示することを特徴とする。